

病院生活

田中 均

命をあずかる病院には様々な人が住んでいる。

朝から夜まで一日じゆうである。

御飯の時間が一番うれしい。

血の検査も年二回もある。

投薬は日に食後三回もある。

一日じゆうベットのの上にいる。

テレビはたまにしか見ない。

新聞も共同で一部である。

あとは自分で絵を書いている。

それをライフワークとしている。

プロになるのが夢である。

人生を見つめるとあと三十年しか生きれない。

はや私も五十才になろうとしている。

あつという間の人生であった。

十代は野球・卓球で終えた人生であり、充実した時であった。

テーマは充実と人生のはかなさである。

あなたの人生は充実していましたか。

くいの残らない人生でしたか。

私の人生は病気との戦いと絵の創造による戦いでしたね。

注射を打てば治るものではなく。

薬を飲めば治るものでもなく。

精神障害という完治できない病気である。

しかし、私はそれにもめげずに、こうして詩文を書いています、絵も書いています、写真もとっています。

ラッキーなのは今までに二回賞をもらっていることです。

充実していますね。

思うには生きがいのない人生を送っている人が多くいますね。

それに関してはよい方だと思います。
人生何がよいかわかりませんからね。

また病院生活はつまらないものですね。

ベッドの上にいるか、トイレに行くか、食堂に行くかしかありませんからね。

ナースさんがキレイだとうれしいですね。

ナースマンさんのやさしい事やさしい事。

月に一回の注射はケツに打たれます。

あと体重測定・ウエスト測定・血圧測定があります。

また外泊も楽しいひと時です。

自分の部屋で絵を書いて、音楽を聞いて、楽しい時間が過ごせます。

CDしか聞きませんが昔の曲ばかり聞いていまして、この五、六年CDを買っていません。

家から病院に行くのが嫌になります。

早く病気が治りませんかね。

皆さん治す方法を私に教えてくだされませんか。

この精神病だけ治らないんです。

私はそう・うつ病ではないから頭は常に働きます。

もうサラリーマンにはなれません。

アルバイトは何とか出来ますがね。

出来たら、マクドナルドで働きたいですね。といつも考えています。

統合失調症なのですの病名は。

この病気になる薬が必要でありまして、切ることができないのです。

皆さんはこの病気になるないようにね。

早めの治療が必要です。

いやですよね。本当にいやですよね。

しかし、なぜか病院にいた方が楽ですよね。

そこで危険を感じるんですよ。

このままでいいのかと。

お金がもっと欲しい。

もつと若くなりたい。

あと三十年の命である。

今までの人生、充実していませんよねとか。

様々なことを感じてしまうのです。

ただ「ありがとう」皆さんだけですよね。

ナース・両親・兄弟・おじおばさん方・先生どうもありがとうございます。

食事の時間はおいしいものが毎食いただけるので、私のいる病院はよい方だと思います。

皆さんは毎日何を食べていますか。

どこのメーカーのシャンプーを使っていますか。

何の歯みがき粉を使っていますか。

友人の教えによりますと、使うものによって人生が変わるんだそう。

皆さんはよく理解されたでしょうか。

充実していますか。

私は今こうやってベットの上で詩を書いていると充実しています。

それが一生の喜びではないのでしょうか。

あと芸術新潮を読んでたりすると充実しています。

皆さん私の言いたいことが理解されましたか、理解されますよね。

とにかく私は充実した時間が欲しいのです。

あと三十年生きたいのです。

いやもつと五十年生きたいのです。

人様にありがとうではないのでしょうか。

病院の全ての人に感謝して毎日生きたいと思います。

全て自分次第ではないのでしょうか。

一生は一回しかないのだから努力すべきでしょうね。

今好きな音楽は、いきものがかりの「ありがとう」であります。

よい歌ですね。

あとは風を切って毎日歩いていければよいのではないのでしょうか。

皆さんありがとうございます。